

CQ（着艦資格取得訓練）などによる

深夜・未明の爆音が基地周辺住民を襲う

厚木基地で早期警戒機が着艦訓練繰り返す

人権無視の米軍の横暴に強く抗議する

空母艦載機の硫黄島での訓練が終了し、17日から空母艦載機のパイロットが空母のワイヤーに空母艦載機のフックを引っかけて直接空母に着艦させるCQ（着艦資格取得訓練）が開始され、厚木基地周辺では22時以降の爆音が続きました。特に、20日と22日は22時以降の爆音が続きました。

20日 24時過ぎに空母艦載機が帰還

20日、空母艦載機は厚木基地滑走路北側から離陸。22時25分、35分、37分、42分、44分に激しい爆音が住民を襲いました。離陸した空母艦載機は、E-2Dの2機を含む10機でした。そして、24時16分と29分に2機が厚木基地に帰還、E-2D 2機も22時50分、23時55分に厚木基地に帰還しました。深夜（22時から24時まで）、未明（24時以降）の激しい爆音。

米軍の横暴は絶対に許せません。

22日 深夜・未明に17回も爆音

22日は22時31分に厚木基地滑走路南側から艦載機が離陸。続いて、22時54分、56分、23時2分、11分、14分、15分、17分、19分、22分、27分、29分、30分、32分

分、44分、48分、53分、24時23分と17回の爆音、29機が離陸、住民を激しい爆音が襲いました。航空マニアのブログでは「CQは21日に終了している」としています。このブログが正しいければ、この日の深夜・未明の離陸は一層厳しく問われなければなりません。



12時28分 厚木基地に向かう早期警戒機

硫黄島で空母艦載機によるの着陸訓練が実施されている11日、空母艦載機早期警戒機5機（E-2C 2機、新型のE-2

D3機）が厚木基地滑走路で着陸訓練を繰り返しました。12時24分に早期警戒機2機、28分に3機が厚木基地北側方面から厚木基地に向かいました。そして、滑走路北側から着陸、直ぐに離陸するタッチ・アンド・ゴー、着陸訓練を始めたのです。早期警戒機は繰り返して、厚木基地周辺を大回りで旋回飛行、着陸訓練を行いました。14時過ぎまでの1時間30分の間、着陸訓練、旋回飛行が繰り返されました。厚木基地での着陸訓練も絶対に許せません。